

2019年3月期(FY2018)
第3四半期
連結決算報告



大幸薬品

2019年2月
大幸薬品株式会社



■ 対前年同期比大幅増収

- 売上高 : 474百万円増(7%増)
- 営業利益 : 14百万円増(0%増)
- 四半期純利益 : 132百万円増(11%増)

■ 感染管理事業

- 製品デザインリニューアルにより一般用の出荷が大幅増加
12月より新TVCMを放映開始し、店頭販売も好調に推移

連結經營成績

連結経営成績サマリー

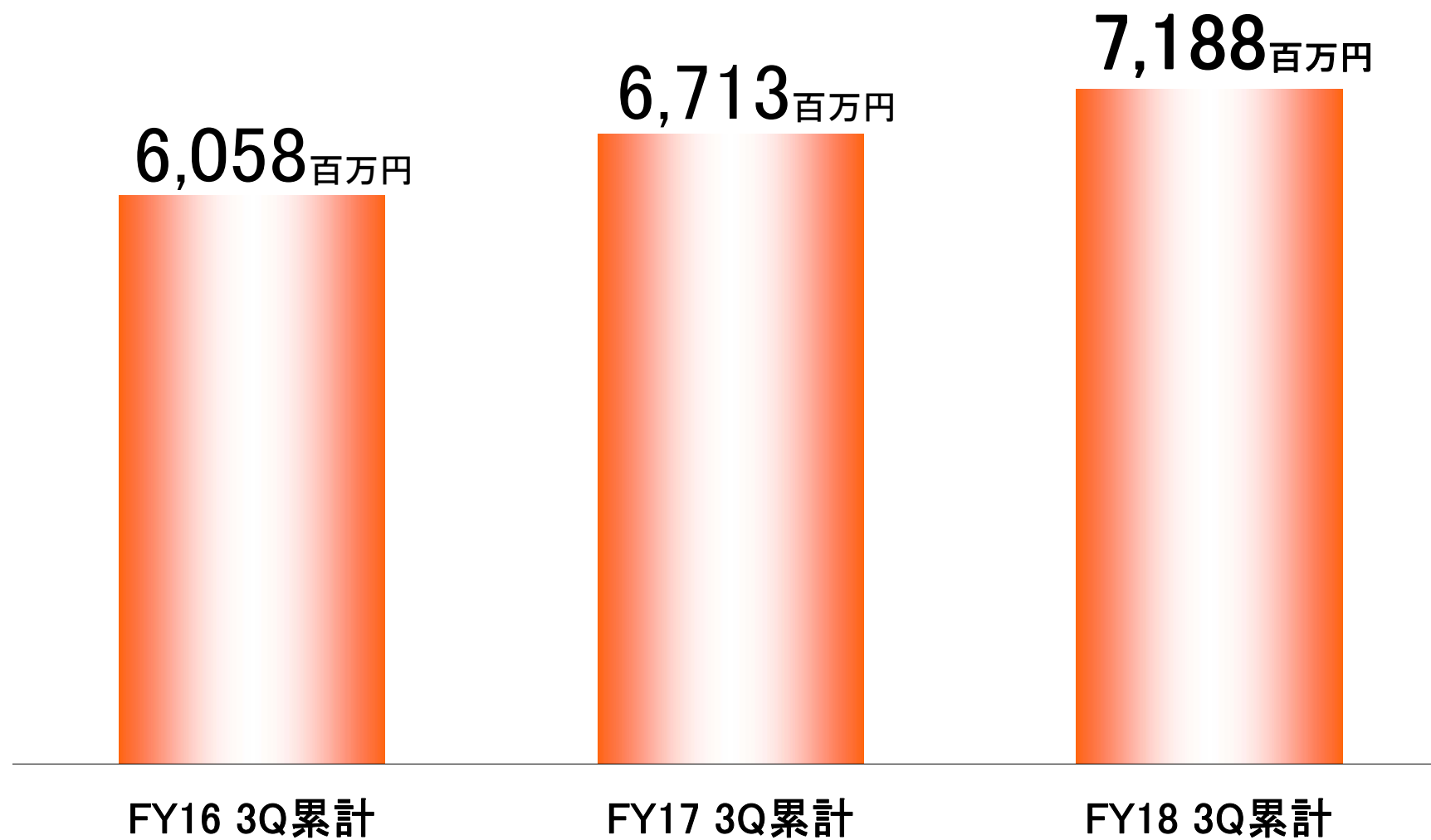
- 医薬品事業及び感染管理事業の増収により売上高大幅増加
- 販売費及び一般管理費も増加するが、これを吸収し増益

単位：百万円

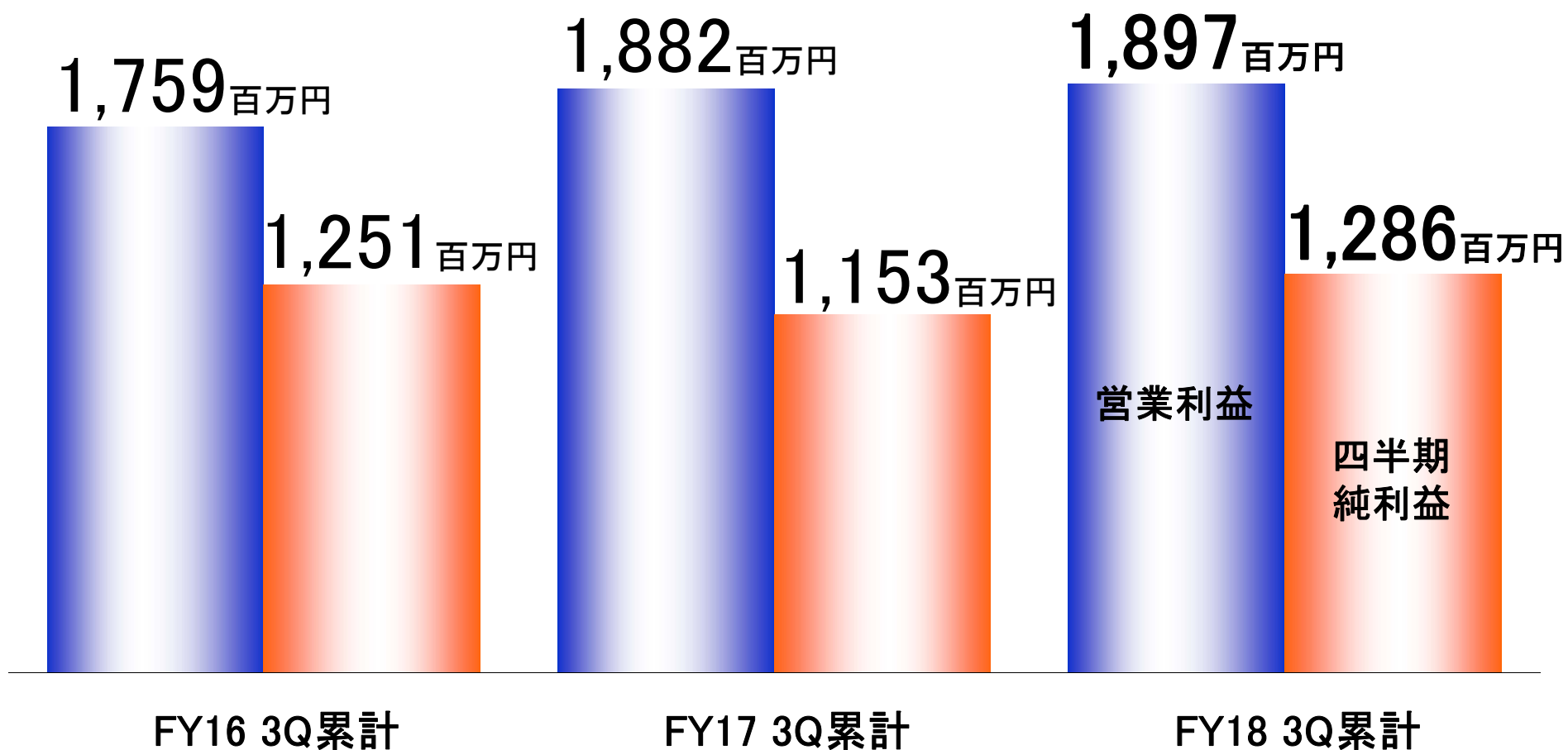
	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	6,713	7,188	474	7.1%	医薬品)対前年同期比96百万円増 感染管理)対前年同期比383百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	1,743 (26.0%)	2,004 (27.9%)	260	15.0%	
売上総利益 (売上高比率)	4,970 (74.0%)	5,184 (72.1%)	214	4.3%	増収影響等により利益増加 リニューアル返品等により粗利率悪化
販売費及び 一般管理費	3,087	3,286	199	6.5%	マーケティング強化による費用等増加
営業利益 (売上高比率)	1,882 (28.0%)	1,897 (26.4%)	14	0.8%	
経常利益 (売上高比率)	1,703 (25.4%)	1,806 (25.1%)	103	6.1%	未稼働設備関連費用41百万円減 為替差益38百万円計上
四半期純利益 (売上高比率)	1,153 (17.2%)	1,286 (17.9%)	132	11.5%	

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移



連結営業利益・四半期純利益推移



販売費及び一般管理費

➤ マーケティング強化に伴い、人件費、販売費等が増加

単位:百万円

	FY17 3Q累計	売上高 比率	FY18 3Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,271	18.9%	1,311	18.2%	39	3.1%	
広告宣伝費	631	9.4%	563	7.8%	△68	△10.8%	医薬品)128百万円減 感染管理)61百万円増
販売促進費	514	7.7%	579	8.1%	64	12.6%	医薬品)19百万円減 感染管理)84百万円増
運送費	125	1.9%	168	2.3%	43	34.4%	
人件費	960	14.3%	1,039	14.5%	78	8.2%	人員強化等
その他経費	854	12.7%	936	13.0%	81	9.5%	
研究開発費	212	3.2%	280	3.9%	68	32.3%	京都工場製造試験費用 等増加
支払手数料	145	2.2%	157	2.2%	12	8.6%	
計	3,087	46.0%	3,286	45.7%	199	6.5%	

連結財政状態

単位: 百万円

	FY17 期末	FY18 3Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	11,563	11,511	△52	△0.5%	
現金及び預金	6,547	5,443	△1,104	△16.9%	※連結キャッシュ・フロー状況参照
売上債権	3,385	4,375	990	29.3%	売上高が3Q(10-12月)に偏重
たな卸資産	1,524	1,539	14	1.0%	
固定資産	8,908	9,208	299	3.4%	投資有価証券の増加
資産合計	20,472	20,719	247	1.2%	
流動負債	2,816	2,078	△738	△26.2%	未払金等の減少
仕入債務	424	593	168	39.8%	
固定負債	1,236	1,269	32	2.6%	
純資産	16,419	17,371	952	5.8%	四半期純利益計上
負債純資産合計	20,472	20,719	247	1.2%	
自己資本比率	80.0%	83.7%			

連結キャッシュ・フロー状況

単位：百万円

	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	主な要因
営業CF	△1,326	306	EBITDA 2,232百万円 売上債権の増加 △1,006百万円 法人税等の支払 △563百万円
投資CF	△127	△1,170	投資有価証券の取得による支出 △725百万円 設備投資による支出 △433百万円
財務CF	△219	△317	配当（FY18より中間配当実施） △482百万円
現金・同等物換算差額	△13	△1	
キャッシュ増減（※1）	△1,687	△1,183	
キャッシュ期末残高	5,115	5,364	
EBITDA（※2）	2,220	2,232	営業利益 1,897百万円 減価償却費 334百万円

（※1）キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

（※2）EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業：海外増収及び広告宣伝費の減少等により増益
- 感染管理事業：大幅増収も広告宣伝費・販売促進費増加等により減益

単位：百万円

	売上高			セグメント損益			
	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減率	FY17 3Q累計	利益率	FY18 3Q累計	利益率
医薬品事業	3,872	3,968	2.5%	1,617	41.8%	1,660	41.8%
感染管理事業	2,824	3,207	13.6%	1,147	40.6%	1,036	32.3%
その他事業	16	12	△27.8%	△12	—	△23	—
全社(※)	—	—	—	△869	—	△776	—
連結合計	6,713	7,188	7.1%	1,882	28.0%	1,897	26.4%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

➤「正露丸クイックC」:前年1Q初期出荷による反動減



正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減	増減率
正露丸	1,349	1,338	△10	△0.8%
セイロガン糖衣A	1,515	1,543	28	1.9%
正露丸クイックC	124	58	△66	△53.4%
その他(※)	62	66	4	7.0%
計	3,051	3,007	△44	△1.4%

(※) 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等

当社の国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ

店頭小売価格ベース	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減
市場シェア	48.4%	48.2%	△0.2P

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場向けが出荷増加
- 海外事業は概ね計画通りに進捗

地域別売上高

単位:百万円



正露丸



セイロガン糖衣A

	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減	増減率
中国	150	291	140	93.4%
香港	506	458	△47	△9.4%
台湾	122	159	37	31.1%
その他(※)	41	50	9	22.4%
計	820	961	140	17.1%

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

➤ 国内一般用: 製品デザインリニューアルに伴い出荷が大幅増加
2018年12月より新TVCMを放映開始し、店頭販売も好調に推移



© Disney/Pixar

クレベリン×ベアブリック
トイ・ストーリーキャラクターデザイン



クレベリン 置き型

クレベリン スプレー



DENSO

クレベリンカートリッジ
(車両用)



クレベリン スティック

製品カテゴリー別売上高

単位: 百万円

	FY17 3Q累計	FY18 3Q累計	増減	増減率
ゲル剤	2,339	2,737	397	17.0%
液剤	227	241	14	6.3%
その他(※)	257	228	△28	△11.1%
計	2,824	3,207	383	13.6%

(※) クレベリンカートリッジ(車両用)、低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

対象顧客別売上高

単位: 百万円

	FY17 3Q累計	構成比	FY18 3Q累計	構成比	増減	増減率
国内: 一般用	2,098	74.3%	2,413	75.3%	315	15.0%
国内: 業務用	691	24.5%	724	22.6%	32	4.8%
海外	34	1.2%	69	2.2%	35	102.7%
計	2,824	100.0%	3,207	100.0%	383	13.6%

リニューアル品・新製品(国内一般用)

➤世界的デザイナーの佐藤オオキ氏が率いるnendoによるデザイン



「クレベリンシリーズ」リニューアル品



クレベリン 置き型 専用ケース



➤新キャラクターデザイン



クレベリン スティック
ミッキーマウス限定デザイン

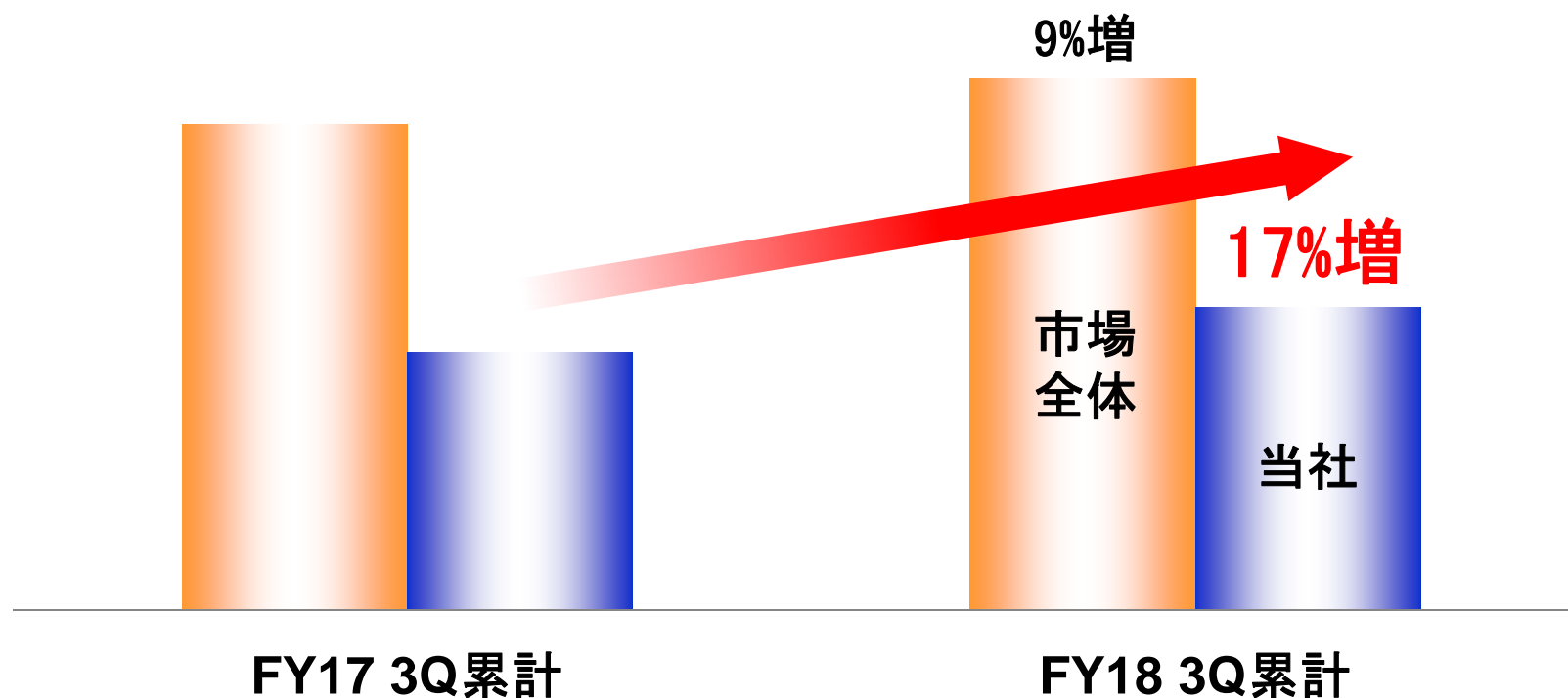


クレベリン×ベアブリック
トイ・ストーリー キャラクターデザイン

感染管理事業(一般用製品)の店頭販売動向

- 市場全体は対前年同期比9%増
- 当社製品(クレベリン)は対前年同期比17%増、市場全体の成長を牽引

■市場全体、当社製品の店頭販売の動向



出所:(株)インテージ



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。